

|       |        |
|-------|--------|
| 普及項目  | 養殖     |
| 漁業種類等 | 養殖業    |
| 対象魚類  | スジアオノリ |
| 対象海域  | 八代海    |

## スジアオノリ養殖指導

県南広域本部水産課・池崎 公亮

### 【背景・目的・目標（指標）】

球磨川のスジアオノリ養殖は、暖冬化、魚類や鳥類による食害等により生産量が減少しており、令和5年度（2025年度）の生産量はゼロであった。

そのため、球磨川でのスジアオノリ養殖の生産量を増加させることを目的に、養殖業者を対象とした食害対策についての勉強会を実施した。また、スジアオノリ葉体の測定、環境測定を実施し、得られた情報を生産者に迅速に提供し、併せて適切な養殖指導を行った。

### 【普及の内容・特徴】

#### 1 食害対策についての勉強会

開催日：令和6年（2024年）11月15日

場 所：八代漁協金剛支所会議室

参加者：養殖業者5名、八代漁協職員1名、八代市職員1名、県職員5名

内 容：他産地で実施されている食害対策を養殖業者へ紹介し、今後の対策等について意見交換を行った。また、食害対策の資材導入に対する支援である、新たな稼げる養殖業推進事業について説明し、事業を活用した食害対策の実施を提案した。

#### 2 養殖状況調査

実施期間：令和6年（2024年）12月～翌年3月

頻 度：概ね週1回、計13回

内 容：八代市及び八代漁協と共同でスジアオノリ養殖場を巡回し、環境測定（水温、塩分）を行うとともに、葉長の測定を行った。

### 【成果・活用】

当課の提案もあり、スジアオノリの食害対策として、八代漁協が新たな稼げる養殖業推進事業を活用し、3業者が囲い網やギョニゲール（ステンレス製反射板）等の設置に至った。その結果、八代漁協全体での生産量は約6kg（乾燥重量）と少ないながらも、これらの取組みにより確実に生産に結び付いた。

また、養殖状況調査として合計13回調査を行い、結果をSNSを利用して生産者、漁協及び関係者へ情報提供を行い、生産者の養殖管理の一助となった。

### 【達成度自己評価】

#### 4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）

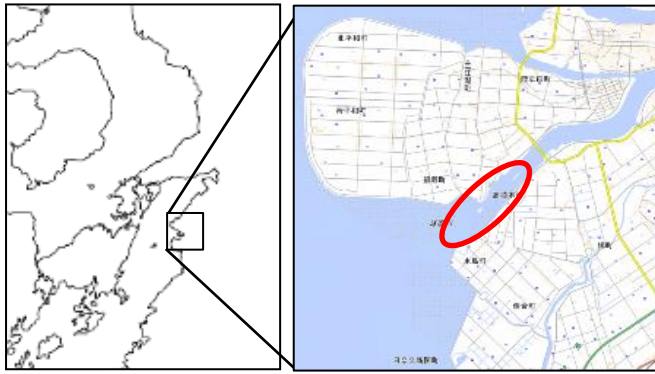


図1 養殖状況調査区域



図2 囲い網をした養殖網



図3 食害対策をしなかった養殖網



図4 囲い網



図5 ギョニゲール  
(ステンレス製反射板)



図6 調査時の採水の様子